



No. 5
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成30年度第3回

一般国道168号
ながとの
長殿道路

【再評価】

平成30年11月
近畿地方整備局

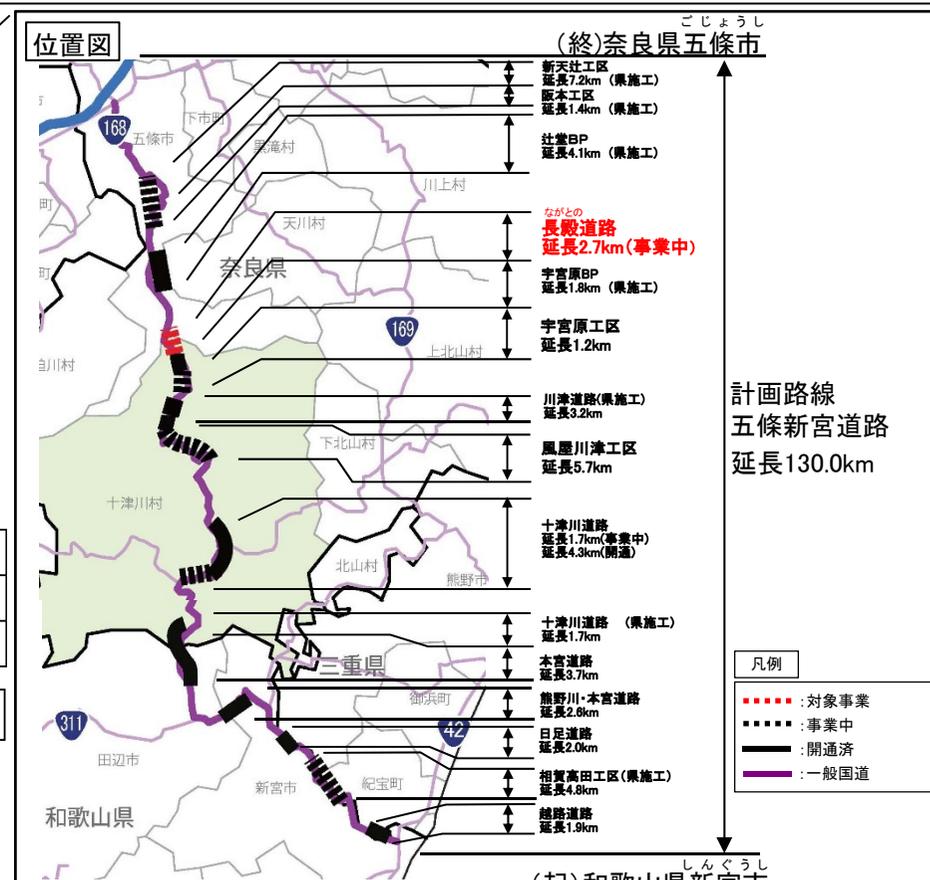
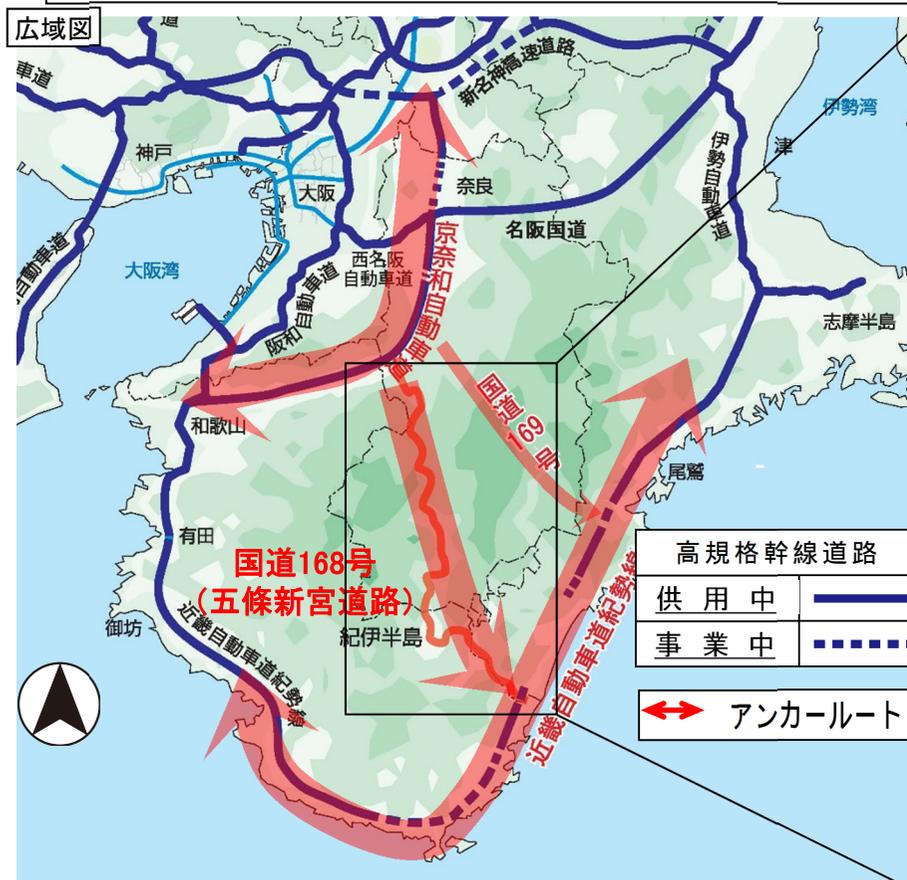
目次

1. 事業全体図
2. 事業の概要
3. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
 - 3) 事業の投資効果
 - 4) 地域における計画等
4. 事業の進捗の見込みの視点
5. 事業費の見直し
6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
7. 関係自治体の意見
8. 対応方針(原案)

1. 事業全体図

一般国道168号五條新宮道路は和歌山県新宮市と奈良県五條市を結ぶ延長約130kmの地域高規格道路です。「紀伊半島アンカールート」の一部を形成し、高規格幹線道路の空白地帯である紀伊半島内陸部を南北に縦貫する極めて重要な幹線道路です。住民の生活と安全を守る「いのちの道」として、防災面のみならず、人と物の流れを活性化し、地域の活性化を図るうえで必要不可欠な道路ですが、現在も未改良区間が多くあり、国と県で早期完成に向けて整備中です。

一般国道168号長殿道路は、地形条件が厳しく整備に高度な技術を要する区間であることから国土交通省権限代行事業として、安定した交通路の確保、線形が厳しい箇所・幅員狭隘区間の解消、医療施設へのアクセス向上、地域の活性化等を目的に、整備を進めている延長2.7kmの道路です。



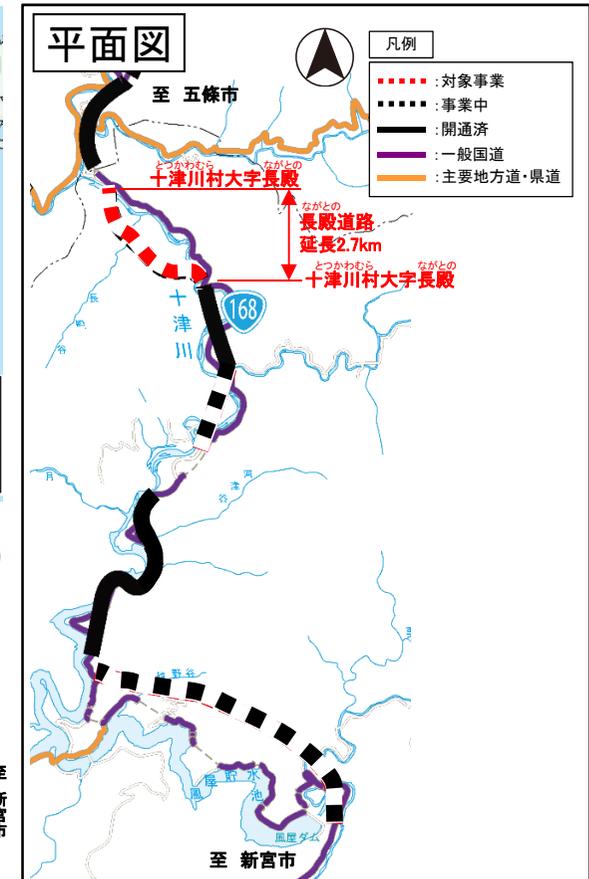
2. 事業の概要

事業の目的

- 安定した交通路の確保
- 線形が厳しい箇所・幅員狭隘区間の解消
- 医療施設へのアクセス向上
- 地域の活性化

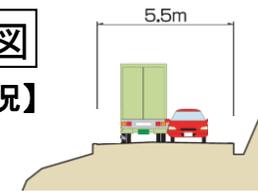
事業の概要・進捗状況

区間	よしの とつかわむら ながとの (起) 奈良県吉野郡十津川村大字長殿 よしの とつかわむら ながとの (終) 奈良県吉野郡十津川村大字長殿
道路延長	2.7km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	2車線
標準幅員	8.5m
計画交通量	2,900台/日
全体事業費	160億円
事業化	平成24年度
都市計画決定	—
用地着手	平成26年度
工事着手	平成28年度
開通延長	—
事業進捗率	約13%(平成30年3月末現在)
用地進捗率	約37%(面積ベース、同上)



標準断面図

【現況】

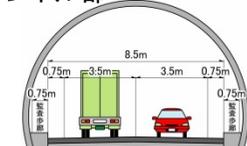


【整備後】

橋梁部



トンネル部



3. 事業の必要性等に関する視点

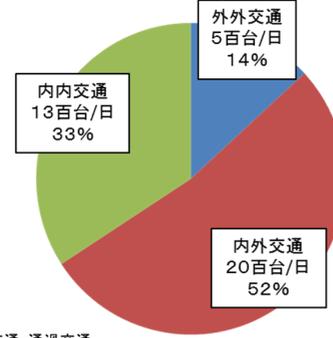
1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 国道168号(現道)の交通特性は、地区内交通(内内交通と内外交通)が約8割と多く、地域を支える道路である。
- 十津川村の人口は経年的に減少しているものの、自動車保有台数の推移は事業化時(H24)から変化はない。
- 十津川村の人口は近年減少傾向にあるとともに高齢化率は進行しているが、事業採択の際の前提となってい

重要な見込みや地元情勢の変化等の大きな変化はない

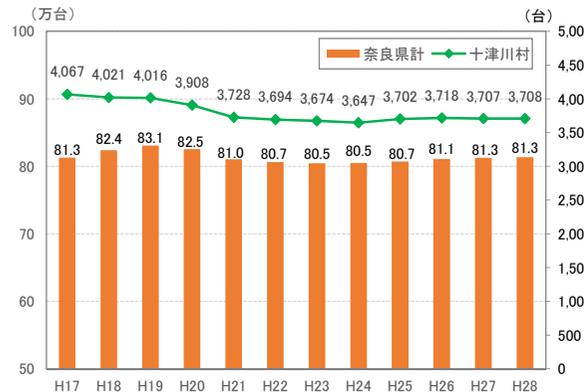


《国道168号(現道のOD内訳)》



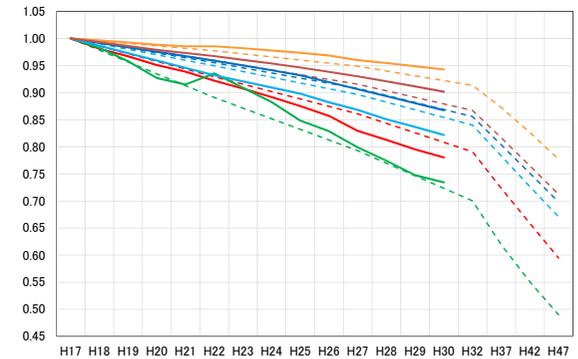
※外外交通: 通過交通
 内外交通: 周辺地域とその他の地域の交通
 内内交通: 周辺地域内の交通
 周辺地域とは、※周辺地域とは、当該事業が通過する吉野郡十津川村
 H22全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果を基に算出
 合計値は表示桁数の関係で一致しないことがある

《自動車保有台数の推移》



出典: 奈良県統計年鑑H17~H28
 市区町村別自動車保有車両数、市区町村別軽自動車車両数

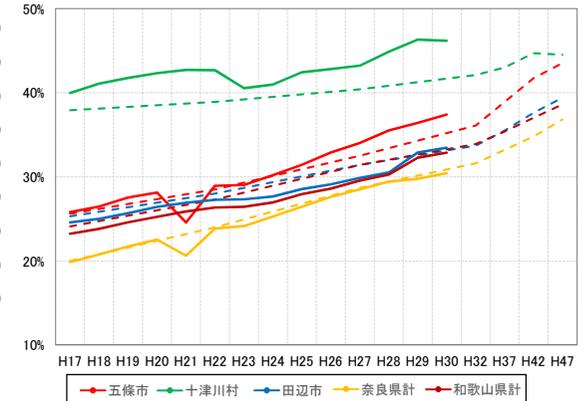
《人口の伸び率》



● 五條市 ● 十津川村 ● 田辺市 ● 新宮市 ● 奈良県計 ● 和歌山県計

出典: 奈良県統計年鑑H17~H30 和歌山県統計年鑑H176~H30
 H19.5時点将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所) 破線は推計値

《高齢化率》



出典: 奈良県統計年鑑H17~H30 和歌山県統計年鑑H176~H30
 H19.5時点将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所) 破線は推計値

3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 長殿道路

2) 事業の整備効果(安定した交通路の確保)

- 十津川村内の国道168号では過去10年間(H20年度～H29年度)に、22回の全面通行止めが発生。
- 長殿道路においては、既往災害発生箇所(2箇所)、深層崩壊箇所(1箇所)、防災点検要対策箇所(6箇所)が存在し、災害に脆弱。
- 五條新宮道路の整備により、防災点検要対策箇所が約4割に減少するなど、脆弱な現道区間を回避でき、円滑な走行を確保。

台風12号の長殿道路周辺における被害状況

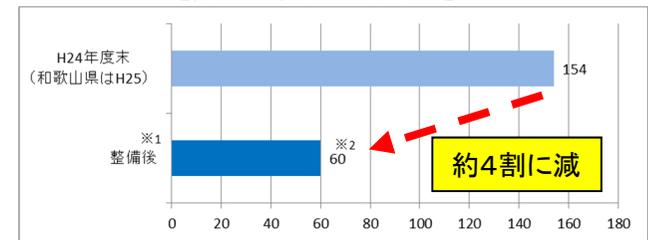


【十津川村内の国道168号における過去10年間の通行規制状況】

発生年度	全面通行止め回数			
	落石・崩土			
	長殿	宇宮原	風屋川津	他
H20年度	0	0	0	0
H21年度	0	0	0	1
H22年度	0	0	0	0
H23年度	1	1	0	9
H24年度	0	0	2	3
H25年度	0	0	0	1
H26年度	0	0	0	0
H27年度	0	0	0	1
H28年度	0	0	1	0
H29年度	1	0	0	1
小計	2	1	3	16
合計	22			

出典: 奈良県県土マネジメント部資料

【防災点検要対策箇所】



- 1) 五條新宮道路で事業化されている区間
- 2) うち、長殿道路の整備により6箇所回避

3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 長殿道路

2) 事業の整備効果(線形が厳しい箇所・幅員狭隘区間の解消)

- 現道区間では線形の厳しい箇所が37箇所、幅員狭隘区間が18区間あり、自動車同士のすれ違いが困難、安全・安心な通行の確保が課題。
- 長殿道路の整備により、脆弱な現道区間を回避でき、円滑な走行を確保。

厳しい平面線形と連続する幅員狭隘区間



▼線形が厳しい狭隘区間を走行する大型車



写真① 一般国道168号(長殿道路並行区間)
(撮影日: H30年6月14日(木))

▼線形の厳しい箇所で大型車の通行により譲り合い



写真② 一般国道168号(長殿道路並行区間)
(撮影日: H30年6月14日(木))

課題箇所	現況	開通後
線形の厳しい箇所	37箇所	0箇所
幅員狭隘区間	18区間	0区間

3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 長殿道路

2) 事業の整備効果(医療施設へのアクセス向上)

- 十津川村の人工透析患者や周産期妊婦は村外の病院に通院。
- 国道168号の通行止め時には、通院に大きな迂回が生じるため、入院したり親類宅に一時転居するなどの対応が必要。
- 五條新宮道路の整備により落石、崩土による通行止めは大幅に回避。
- 長殿道路の整備により搬送時間の短縮が図られ、通院する住民の負担軽減、安心できる生活を支援。

救急医療施設の位置



国道168号の通行止めの影響

十津川村在住 人工透析患者 15人

通院先	人数
五條病院	8
天理市の病院	1
葛城市の病院	1
新宮市の病院	5

対応方法

対応方法	人数
五條病院に入院	6
親類宅に一時転居	2
五條市に転居	3
新宮市に転居	3
その他	1

H23.9 台風12号被害のため 国道168号 通行止

※村全体が孤立したためへりで搬送

出典: 十津川村調べ

過去10年の国道168号通行止め回数 (五條市、十津川村)

発生年度	全面通行止め回数 (落石、崩土)	
	実回数	うち、五條新宮道路の事業化区間
H20年度	1	1
H21年度	4	3
H22年度	0	0
H23年度	15	9
H24年度	5	5
H25年度	3	3
H26年度	0	0
H27年度	1	1
H28年度	4	4
H29年度	5	1
小計	38	27

搬送時間 十津川村役場～南奈良総合医療センター



周産期妊婦の定期検診先 (平成30年6月末時点)

十津川村在住 周産期妊婦 11人

通院先	人数
橋本市の病院	3
新宮市の病院	3
樺原市の病院	4
田辺市の病院	1

出典: 十津川村調べ

※1: H27全国道路・街路交通情勢調査平均速度で算出
 ※2: H27全国道路・街路交通情勢調査時点における未供用区間(事業実施区間)の速度は、60km/hで算出

全面通行止めは7割程度回避
 出典: 奈良県県土マネジメント部資料

3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 長殿道路

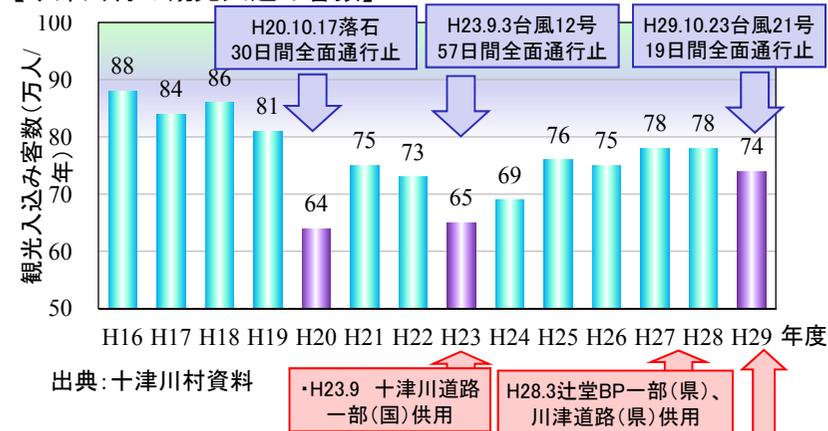
2) 事業の整備効果(地域の活性化)

- ^{とつかわ}十津川村には多くの観光資源が存在するが、主要な観光ルートとなる国道168号はカーブが多く、走行性が悪いほか、災害による全面通行止めが、観光客数に大きく影響。
- 一方、H23紀伊半島大水害を契機に村をあげて林業再生に取り組んでおり、原木生産量は10年前に比べると2倍以上と大幅に増加。
- ^{こしょうしんぐう}五條新宮道路の整備により、信頼性のある道路ネットワークが形成され観光振興の回復・安定及び輸送時間の短縮など産業活性化を支援。

十津川村観光地



【十津川村の観光入込み客数】



【林業の原木生産量の推移】



3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 長殿道路

3) 事業の投資効果

- 効果については災害時の迂回解消を含む「走行時間短縮」「走行経費減少」「交通事故減少」について貨幣換算を行い算出。
- 費用については、道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	145億円	5.3億円	0.17億円	151億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	132億円	8.5億円		141億円	

■ 算出条件等

- 基準年 : 平成30年
- 検討期間 : 50年間
- 現在価値算出のための社会的割引率 : 4 %
- 交通量の推計時点 : 平成42年度
- 交通量の推計手法 : 平成22年度 全国道路・街路交通情勢調査
- 適用した費用便益分析マニュアル : 平成30年2月版
- 事業費 : 160億円
- 維持管理費 : 19百万円/km
- 作成主体 : 近畿地方整備局

■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	145億円	5.3億円	0.17億円	151億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	112億円	8.5億円		120億円	

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用については整数値としており、合計値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

3. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 長殿道路

4) 地域における計画等

■地域における計画

- ◇第5次十津川村総合計画(十津川村:H29.3)
- ◇十津川村復興計画(十津川村:H24.4)
- ◇十津川村紀伊半島大水害復興計画アクションプラン(十津川村:H26年度版)
- ◇奈良県道路整備基本計画(奈良県:H26.7)
- ◇奈良県南部振興基本計画(奈良県:H27.3)
- ◇奈良県南部振興基本計画平成29年度アクション・プラン(奈良県:H29.4)
- ◇奈良県国土強靱化地域計画(奈良県H28.5)

■これまでの経緯

- ◇道路整備促進期成同盟奈良県協議会(会長:大和郡山市長)
 - ・構成メンバー 奈良県全域12市15町12村計39市町村
 - ・最近の動向 平成27年11月に整備促進の要望

- ◇内吉野土木協議会(会長:野迫川村長)
 - ・構成メンバー 五條市、野迫川村、十津川村計3市村
 - ・最近の動向 平成30年10月に整備促進の要望

- ◇国道168号(五條・新宮間)整備促進協議会(会長:新宮市長)
 - ・構成メンバー 和歌山県:新宮市、田辺市、那智勝浦町、太地町、北山村
奈良県:五條市、十津川村、野迫川村
三重県:熊野市、紀宝町、御浜町計11市町村
 - ・最近の動向 : 平成30年10月に整備促進の要望

4. 事業の進捗の見込みの視点

一般国道168号 長殿道路

1) 事業の進捗状況

平成30年度事業内容

- ・調査・設計、用地取得を推進しつつ、橋梁工事の着手を予定。

進捗状況

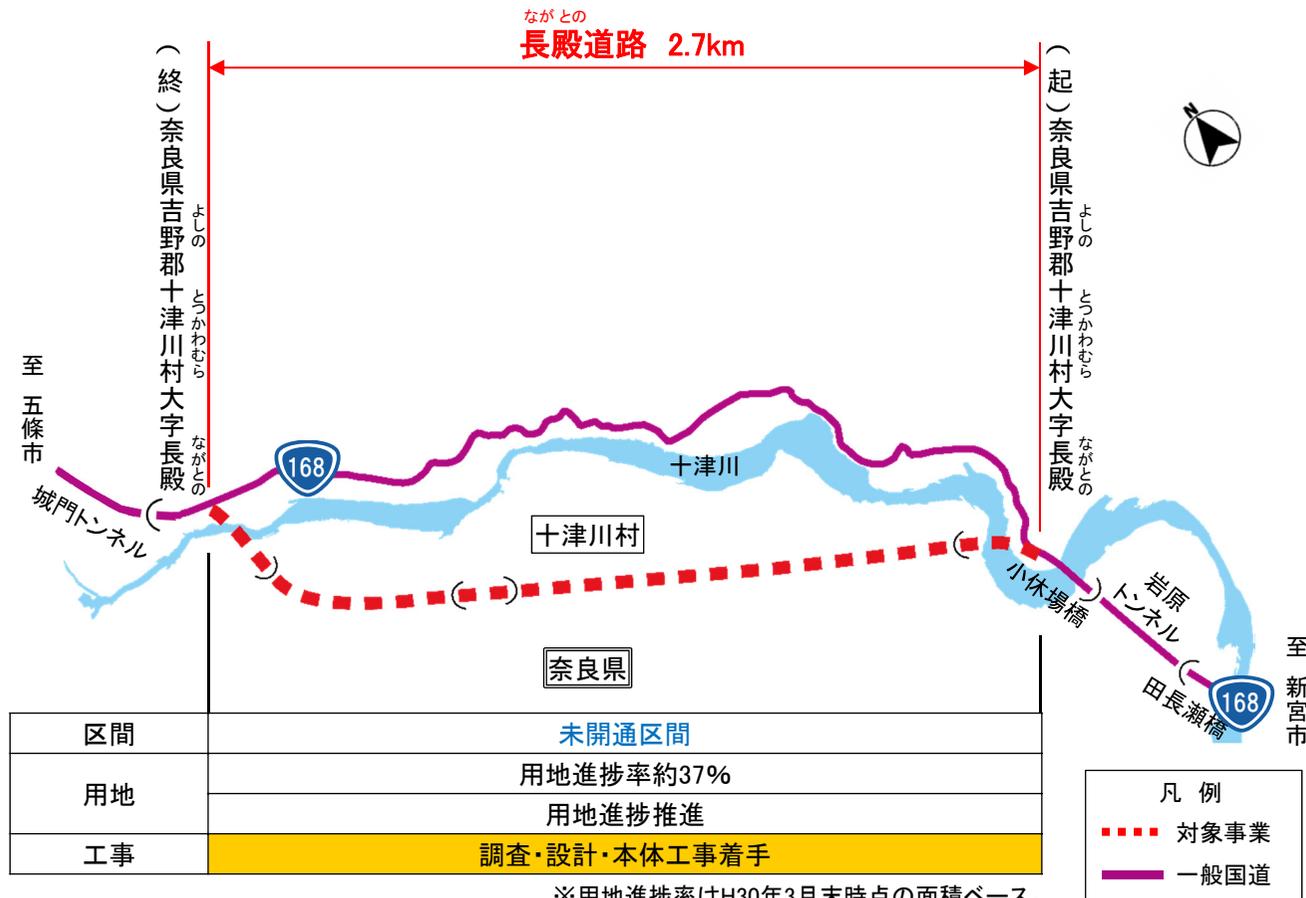
- ・平成29年度末までの進捗は用地進捗率約37%（面積ベース）、事業進捗率は約13%（事業費ベース）です。

事業進捗上の課題

- ・用地について難航案件の早期解決が必要。

2) 今後の事業スケジュール等

- ・引き続き、事業を推進し、早期の開通を目指します。



5. 事業費の見直し

一般国道168号 長殿道路

全体事業費の見直し

地質調査の結果、大規模岩盤地すべりが確認され、坑口位置を変更したことに伴う線形変更等により約5.1億円の事業費増が生じたため、約1億円のコスト縮減を図ったものの、事業費全体では約5.0億円の増額が発生

事業費の増加要因

地質調査の結果、大規模岩盤地すべりが確認されたため、坑口位置の変更に伴う線形変更等により、ルート延長増や、支保パターンの再設定、新たに法面対策が必要となった。

地質調査の結果、地盤条件が異なったことにより、下部工の規模が増大し、施工が2湯水期に渡ることとなった。

関係機関との協議の結果、トンネル掘削における発生土運搬先が変更となった。

コスト縮減の取組

トンネルの路側排水工、施工時換気設備の見直しにより約1億円のコスト縮減を図る。単位:億円

NO.		主な増加理由	金額	備考
	坑口位置の変更によるもの	坑口位置変更により線形見直しに伴う費用の増加	26.9	
		トンネル坑口付近等における法面対策工に伴う費用の増	12.4	
	地質に係るもの	下部工規模の増大に伴う費用の増加	3.0	
		トンネル掘削における発生土運搬先の変更に伴う費用の増加	8.7	
		トンネルの路側排水工、施工時換気設備の見直し	-1.0	
		合計	50.0	

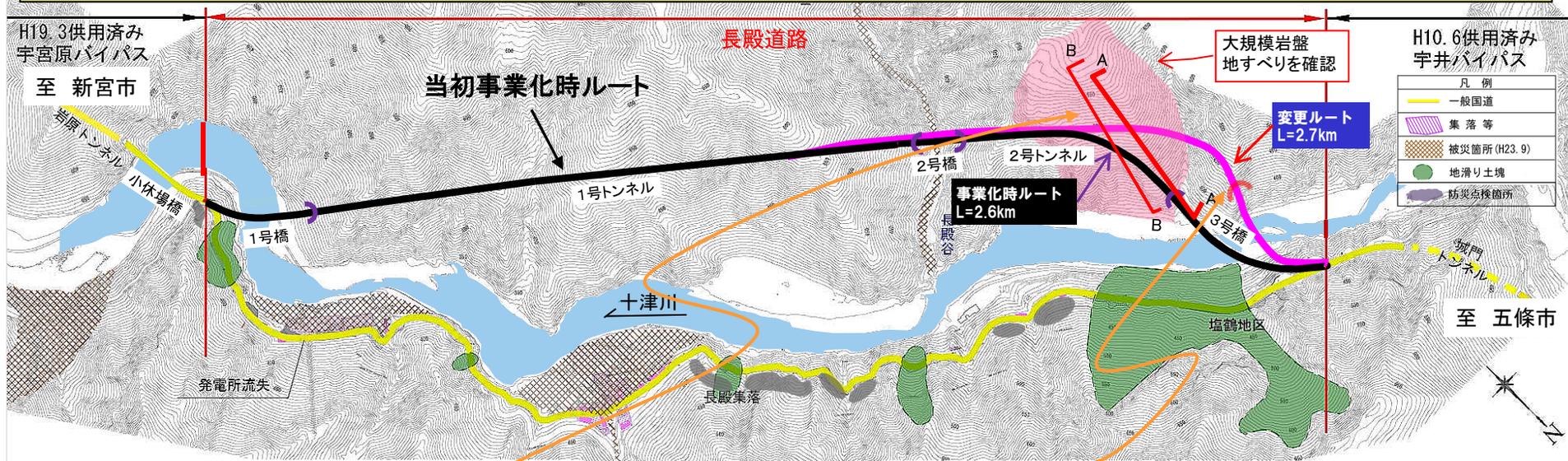
5. 事業費の見直し

一般国道168号 長殿道路

坑口位置変更により線形見直しに伴う費用の増加 (+ 26.9億円)

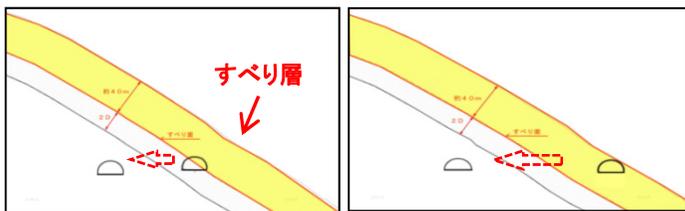
2号トンネル坑口付近等における法面対策工に伴う費用の増 (+12.4億円)

○地質調査の結果、大規模岩盤地すべりが確認されたため、坑口位置を変更し、線形を見直したことに伴い、ルート延長が108m増となり、支保パターンについても改めて、設定を行った。
また、新たな坑口部において法面対策が必要となった。



■ 2号トンネル終点の大規模岩盤地すべり (幅200m程度)

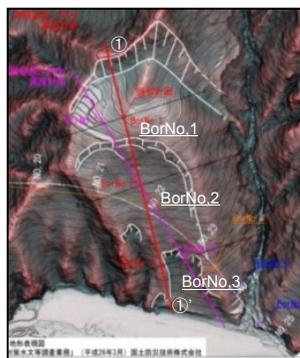
- ・ルート変更に当たり想定すべり面から2Dの離隔を確保(※Dはトンネル掘削幅)



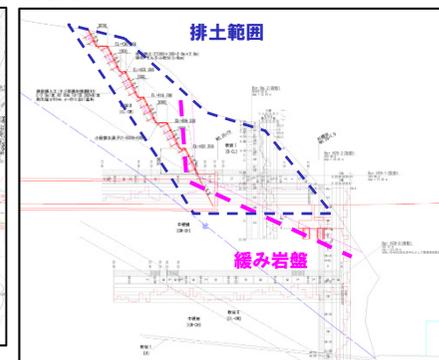
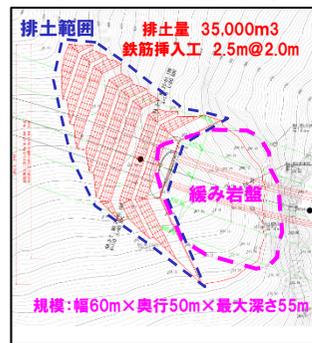
B-B 断面

A-A 断面

■ 2号トンネル終点側坑口部(変更ルート)



大規模岩盤地すべりの範囲

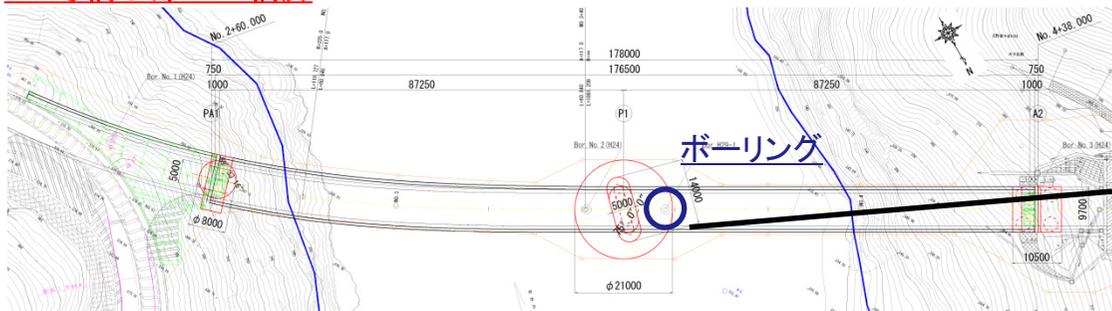


5. 事業費の見直し

下部工規模の増大に伴う費用の増 (+ 3.0億円)

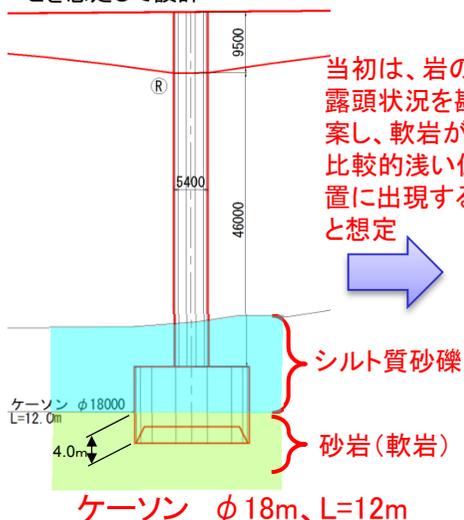
地質調査の結果、深度20m程度まで緩い崖錘堆積物が確認されるなど、地盤条件が異なったため、基礎工の規模が増大し、施工が2湯水期に渡ることとなった。

■1号橋下部工P1橋脚



・当初

施工時の河川への影響を抑えること及び岩着部が軟岩であることを想定して設計



当初は、岩の露頭状況を勘案し、軟岩が比較的浅い位置に出現すると想定

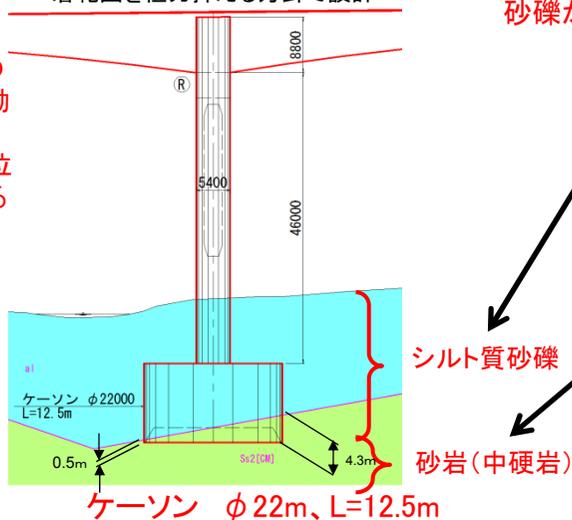
シルト質砂礫
砂岩(軟岩)

ケーソン φ18m、L=12m

施工期間;7.3ヶ月(1湯水期施工)

・変更

岩着部が中硬岩であることが確認されたため、経済性も考慮して岩着範囲を極力抑える方針で設計



シルト質砂礫
砂岩(中硬岩)

ケーソン φ22m、L=12.5m

施工期間;9.3ヶ月(2湯水期施工)

深度19mくらいまで、軟弱な(N値15程度)のシルト質砂礫が分布する。

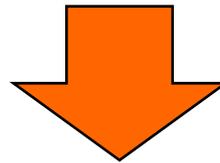
深度19m以深ではN値は50以上

— N値

6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

一般国道168号
長殿道路

ながとの
一般国道168号長殿道路の計画は、安定した交通路の確保、線形が厳しい箇所・幅員狭隘区間の解消や医療施設へのアクセス向上等を勘案して選定された合理的な計画であり、引き続き事業を推進していきます。



今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していきます。

7. 関係自治体の意見

一般国道168号 長殿道路

■奈良県知事

平成30年11月7日 道建110号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

五條新宮道路は、紀伊半島全体の強靱化を図る観点から、「命の道」として、特に重要な地域高規格道路であり、加えて、南部地域の復旧・復興から振興への核として、観光や林業の振興といった地方創生に資する幹線道路です。

しかしながら、五條新宮道路(長殿道路)の現道は、狹隘区間やカーブが多いため、走行性が悪く、かつ、災害にも脆弱であることから、長殿道路を早期に整備することで、交通の円滑化や安全、安心の確保が図られ、さらなる観光や林業の振興が期待できます。

県としても、阪本工区、新天辻工区の整備を鋭意進めているところであり、紀伊半島の強靱化や南部地域の地方創生のため、長殿道路の事業継続は不可欠です。

以上のことから、対応方針(原案)のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業継続にあたり、より一層のコスト縮減等に努めて頂きたい。

県としては、円滑な事業推進のための環境整備の推進や沿線の自治体との協力を努めますので、早期の供用に向けた確実な事業推進をお願いします。

◆沿線市町村の期待

■十津川村長

(道路整備に期待する効果)

①防災

- ・紀伊半島アンカールートを担う五條新宮道路の整備により、大規模災害発生後より迅速な救助や支援が受けられるとともに、紀伊半島の強靱化に繋がる。
- ・長殿道路及び宇宮原工区は安全・安心な集落づくりを進める谷瀬地区と隣接しており、道路整備により事業の更なる推進に期待。

②観光

- ・県内外からのアクセス向上に伴う十津川温泉等観光地の来客数増加。
- ・アクセス向上により観光地での長時間滞在や、紀伊半島周遊など新たな観光コースの創設。

③地域の活性化

- ・村外へのアクセス向上により、物流コスト低下に伴う林業の6次産業を軸とした地域の活性化に期待。
- ・観光地へのアクセス向上により、観光産業の活性化に伴う人口減少の歯止めに期待。
- ・地域外への通勤時間短縮に伴い、人口減少の歯止めに期待。
- ・地域内での通行止め日数の減少や通学時間の短縮により学力アップに期待

④医療施設のアクセス向上

- ・医療施設への時間短縮により助かる命が増えることに期待

(村の取り組み)

①防災

- ・点在する集落から国道168号へのアクセスルートの点検・改良を推進。
- ・全大字に衛星携帯電話を配置し、情報収集機能の強化を推進。

②観光

- ・玉置神社へのバス乗り入れに対応した道路整備を推進。
- ・大阪府泉南市・和歌山県田辺市と連携し、インバウンドを含めた関西国際空港からの広域観光周遊ルートの誘客推進。
- ・外国人観光客も含めた観光客の増を期待して、無料Wi-Fiポイントの整備を推進。

③地域の活性化

- ・観光地、集落の活性化を話し合う活性化協議会を立ち上げ、地域の情報発信や地域のコミュニティ作りを推進。
- ・豊富な森林資源をより幅広く活用するため、モデル住宅建設やインテリアの開発を行い、消費拡大による新たな雇用を創出。

8. 対応方針(原案)

1. 事業の必要性等に関する視点

- ・事業目的である、安定した交通路の確保、線形が厳しい箇所・幅員狭隘区間の解消、医療施設へのアクセス向上が必要な状況は変化していない。
- ・ながとの長殿道路の整備により既往災害発生箇所などを回避でき、安定した交通路の確保が期待される。
- ・ながとの長殿道路の整備により脆弱な現道区間を回避でき円滑な走行を確保できる。
- ・ながとの長殿道路の整備により、災害時も機能する道路が確保され医療施設へのアクセス向上が期待される。
- ・費用便益比(B/C)は、事業全体で1.1、残事業で1.3。

2. 事業進捗の見込みの視点

- ・平成24年度に事業化し、これまでに37%の用地を取得済み。引き続き、設計・用地取得を推進しつつ・工事着手し、早期の開通を目指す。

ながとの一般国道168号長殿道路は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。
引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

事業継続



No. 5
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成30年度第3回

一般国道168号
ながとの
長殿道路
【再評価】

(計算結果等参考資料)

平成30年11月
近畿地方整備局

(再評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道168号 長殿道路
事業主体	近畿地方整備局

事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比(B/C) = 1.1 (経済的純現在価値(B-C) = 10億円、経済的内部収益率(EIRR) = 4.4%) 残事業：費用便益比(B/C) = 1.3 (経済的純現在価値(B-C) = 31億円、経済的内部収益率(EIRR) = 5.5%)

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力 円滑なモビリティの確保	現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 9387万人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 24万人・時間/年 (14497万人・時間/年 - 14472万人・時間/年) 区間b (当該区間 / 並行区間) について : 一般国道168号 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間 : 25万人・時間/年 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率 : 10割削減	
	現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される		
	現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		
	現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	奈良交通 (近鉄八木駅 - 十津川温泉 - ホテル那 - 本宮大社前 - JR新宮駅) 十津川村内を運行する村営バス	
	新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	十津川村 - 大和八木駅 (所要時間127分 - 125分)	
	第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる		
	物流効率化の支援	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
	農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	五條・吉野地域 (十津川村)、主な出荷先: 京阪神、主な出荷品目: スギ、ヒノキ	
	現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		

1. 活力	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		中心市街地内で行う事業である	
		幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		地域高規格道路の位置づけあり	五條新宮道路
		当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	新宮市～五條市(所要時間:164分 162分)
		現道等における交通不能区間を解消する	
		現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	国道168号(十津川村大字長殿～長殿)
		日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～五條市(所要時間:85分 73分)
	個性ある地域の形成	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	「観光地域づくり実践プラン」実施地域、紀伊山地の霊場と参詣道 H16年
		主要な観光地へのアクセス向上が期待される	十津川温泉郷(年間観光客入込数:780千人/年 H28年度)
		特別立法に基づく事業である	
		新規整備の公共施設へ直結する道路である	
		歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる
交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される			
無電柱化による美しい町並みの形成		対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
	市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する		
安全で安心できるくらしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～奈良県立医科大学附属病院(所要時間:127分 114分)	

3. 安全	安全な生活環境の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	奈良県地域防災計画（第1次緊急輸送道路）
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道42号（和歌山市～新宮市）
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	防災点検対策箇所数 = 7(国道168号 十津川村大字長殿～長殿間)
		現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	異常気象時通行規制区間 国道168号 十津川村小原～五條市大塔町字井(31.5km) （十津川村大字長殿～長殿間解消）
		避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量:924.14t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道/平行区間等）：一般国道168号 排出削減量：4.12t/年、排出削減率：10割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：1.4t/年
		現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道/平行区間等）：一般国道168号 排出削減量：0.26t/年、排出削減率：10割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：0.08t/年
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式 - 2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・ その他の別
一般国道168号	長殿道路	L = 2.7km	地域高規格	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
2,900	2車線	近畿地方整備局

費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成30年度		
単純合計	148億円	24億円	172億円
うち残事業分	129億円	24億円	153億円
基準年における 現在価値 (C)	132億円	8.5億円	141億円
うち残事業分	112億円	8.5億円	120億円

便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成30年度			
供用年	平成36年度			
単年便益 (初年便益)	9.0億円	0.32億円	0.01億円	9.4億円
基準年における 現在価値 (B)	145億円	5.3億円	0.17億円	151億円
うち残事業分	145億円	5.3億円	0.17億円	151億円

注)「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

結 果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	10億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.4%
費用便益比（残事業）	1.3
経済的純現在価値（残事業）	31億円
経済的内部収益率（残事業）	5.5%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B / C）
交通量	2,900台/日	± 10%	0.9 ~ 1.3
事業費	129億円	± 10%	0.99 ~ 1.2
事業期間	5年	± 20%	1.04 ~ 1.1

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B / C）
交通量	2,900台/日	± 10%	1.03 ~ 1.5
事業費	129億円	± 10%	1.1 ~ 1.4
事業期間	5年	± 20%	1.2 ~ 1.3

交通状況の変化

様式 - 3

事業名：長殿道路（事業全体）

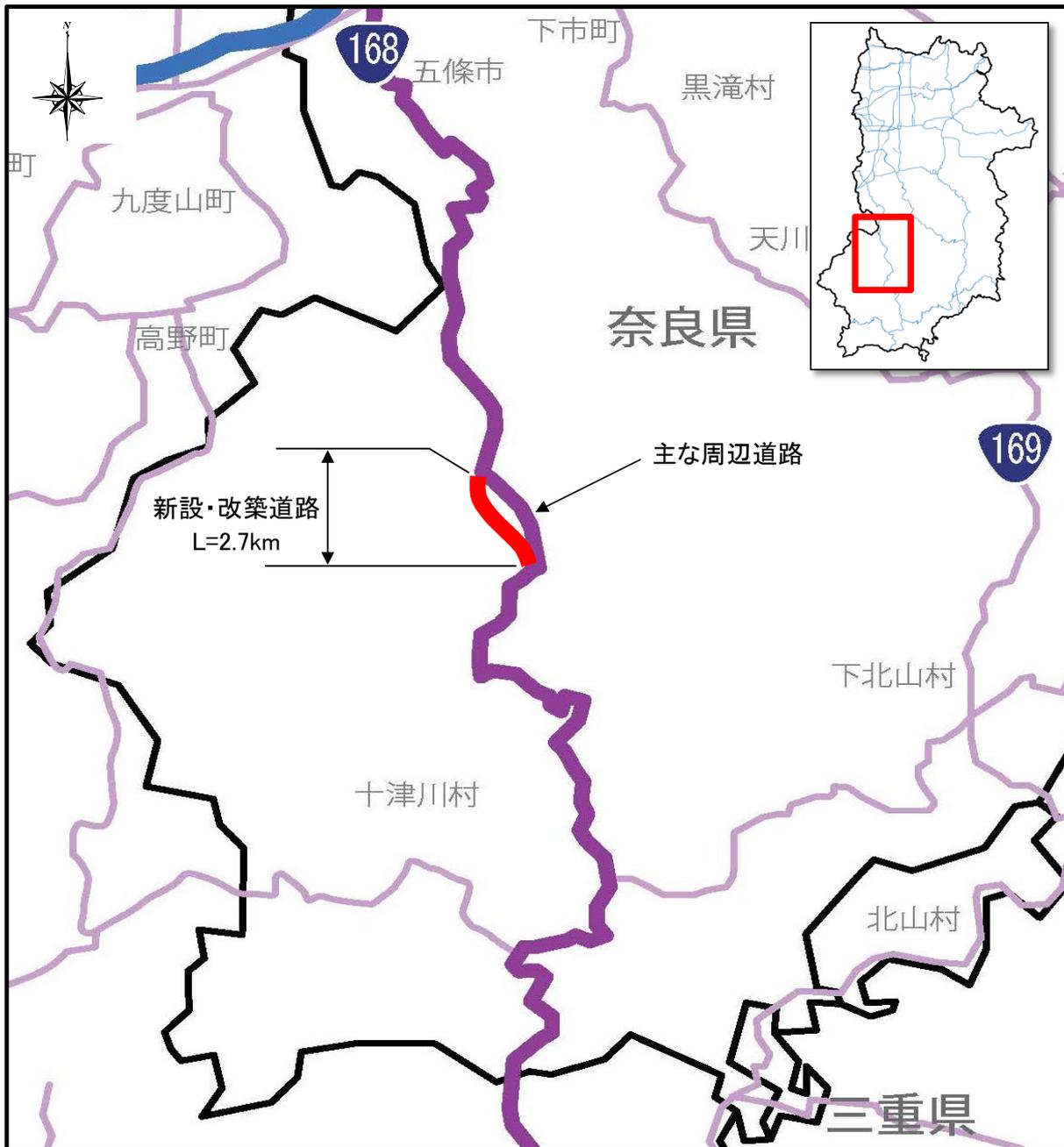
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設・改築道路 (2.7km)	交通量 ¹	[台/日]	0	2,900	
	走行時間 ²	[分]	0	3	
	走行時間費用 ³	[億円/年]	0.00	1.65	
主な周 辺道路 ⁴	一般国道 168号 (3.0km)	交通量	[台/日]	3,200	200
		走行時間	[分]	14	6
		走行時間費用	[億円/年]	10.54	0.30
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
その他道路合計 (6,017.0km)	走行時間費用	[億円/年]	9,500.53	9,500.18	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：6,022.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	9,511.07	9,502.13	8.94

- 1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- 5： 主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面()、()に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式 - 3

事業名：長殿道路（残事業）

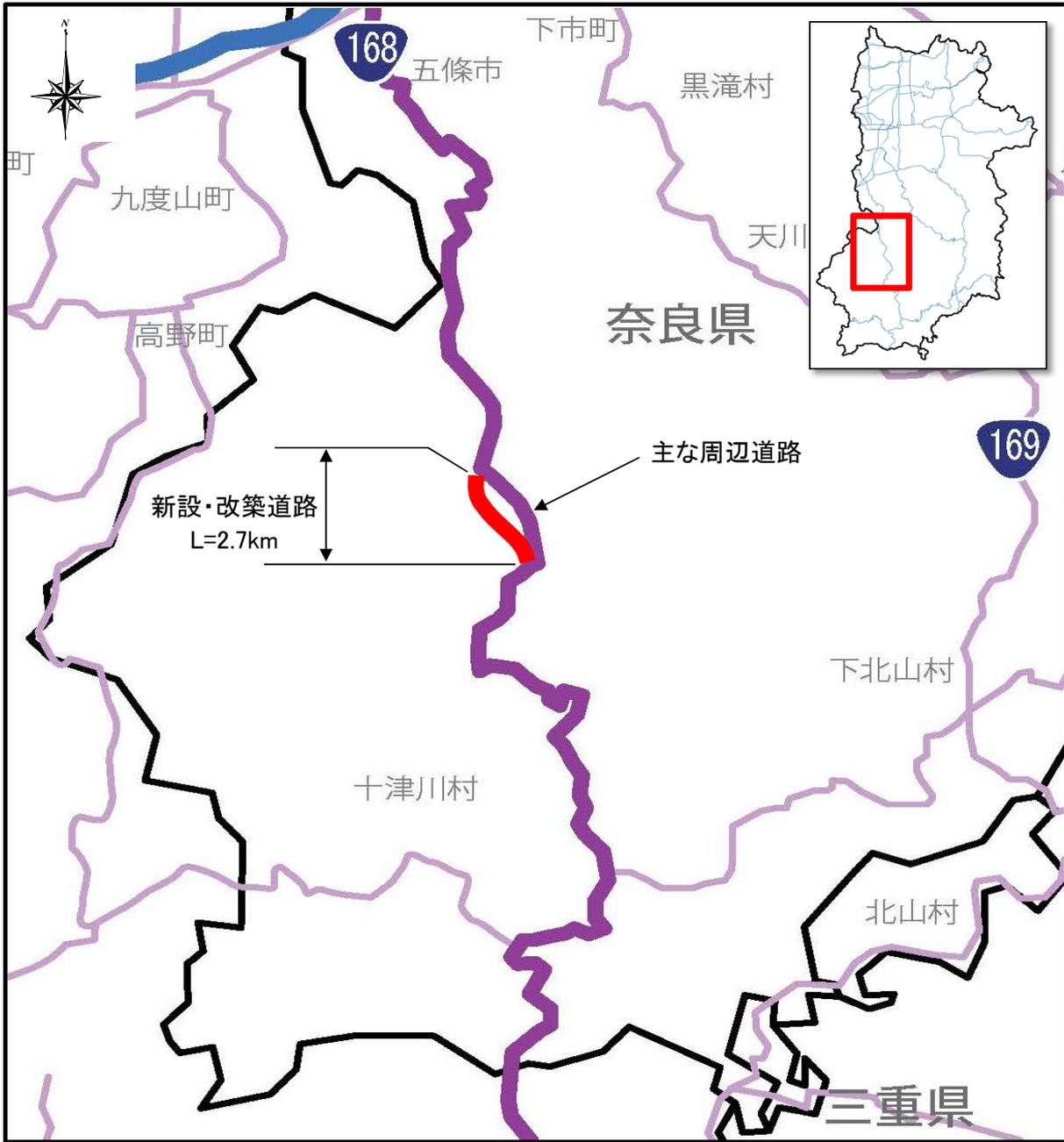
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設・改築道路 (2.7km)	交通量 ¹	[台/日]	0	2,900	
	走行時間 ²	[分]	0	3	
	走行時間費用 ³	[億円/年]	0.00	1.65	
主な周 辺道路 ⁴	一般国道 168号 (3.0km)	交通量	[台/日]	3,200	200
		走行時間	[分]	14	6
		走行時間費用	[億円/年]	10.54	0.30
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
	その他道路合計 (6,017.0km)	走行時間費用	[億円/年]	9,500.53	9,500.18

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：6,022.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	9,511.07	9,502.13	8.94

- 1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- 5： 主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面()、()に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：長殿道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成30年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22全国道路・街路 交通情勢調査)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載 過去10年の実績値より算出	(19) 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

費用の現在価値算定表(事業全体)

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 一般国道168号 長殿道路				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.19	2.7	0.52	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-12年目	H 24	1.2653	99.0	0.95	1.25		
-11年目	H 25	1.2167	99.0	1.33	1.68		
-10年目	H 26	1.1699	101.5	1.23	1.46		
-9年目	H 27	1.1249	103.0	0.60	0.68		
-8年目	H 28	1.0816	102.8	3.17	3.43		
-7年目	H 29	1.0400	102.8	6.02	6.26		
-6年目	H 30	1.0000	102.8	5.56	5.56		
-5年目	H 31	0.9615	102.8	7.59	7.30		
-4年目	H 32	0.9246	102.8	13.89	12.84		
-3年目	H 33	0.8890	102.8	20.37	18.11		
-2年目	H 34	0.8548	102.8	50.93	43.53		
-1年目	H 35	0.8219	102.8	36.57	30.06		
供用開始年次	H 36	0.7903	102.8			0.48	0.38
1年目	H 37	0.7599	102.8			0.48	0.37
2年目	H 38	0.7307	102.8			0.48	0.35
3年目	H 39	0.7026	102.8			0.48	0.34
4年目	H 40	0.6756	102.8			0.48	0.33
5年目	H 41	0.6496	102.8			0.48	0.31
6年目	H 42	0.6246	102.8			0.48	0.30
7年目	H 43	0.6006	102.8			0.48	0.29
8年目	H 44	0.5775	102.8			0.48	0.28
9年目	H 45	0.5553	102.8			0.48	0.27
10年目	H 46	0.5339	102.8			0.48	0.26
11年目	H 47	0.5134	102.8			0.48	0.25
12年目	H 48	0.4936	102.8			0.48	0.24
13年目	H 49	0.4746	102.8			0.48	0.23
14年目	H 50	0.4564	102.8			0.48	0.22
15年目	H 51	0.4388	102.8			0.48	0.21
16年目	H 52	0.4220	102.8			0.48	0.20
17年目	H 53	0.4057	102.8			0.48	0.20
18年目	H 54	0.3901	102.8			0.48	0.19
19年目	H 55	0.3751	102.8			0.48	0.18
20年目	H 56	0.3607	102.8			0.48	0.17
21年目	H 57	0.3468	102.8			0.48	0.17
22年目	H 58	0.3335	102.8			0.48	0.16
23年目	H 59	0.3207	102.8			0.48	0.15
24年目	H 60	0.3083	102.8			0.48	0.15
25年目	H 61	0.2965	102.8			0.48	0.14
26年目	H 62	0.2851	102.8			0.48	0.14
27年目	H 63	0.2741	102.8			0.48	0.13
28年目	H 64	0.2636	102.8			0.48	0.13
29年目	H 65	0.2534	102.8			0.48	0.12
30年目	H 66	0.2437	102.8			0.48	0.12
31年目	H 67	0.2343	102.8			0.48	0.11
32年目	H 68	0.2253	102.8			0.48	0.11
33年目	H 69	0.2166	102.8			0.48	0.10
34年目	H 70	0.2083	102.8			0.48	0.10
35年目	H 71	0.2003	102.8			0.48	0.10
36年目	H 72	0.1926	102.8			0.48	0.09
37年目	H 73	0.1852	102.8			0.48	0.09
38年目	H 74	0.1780	102.8			0.48	0.09
39年目	H 75	0.1712	102.8			0.48	0.08
40年目	H 76	0.1646	102.8			0.48	0.08
41年目	H 77	0.1583	102.8			0.48	0.08
42年目	H 78	0.1522	102.8			0.48	0.07
43年目	H 79	0.1463	102.8			0.48	0.07
44年目	H 80	0.1407	102.8			0.48	0.07
45年目	H 81	0.1353	102.8			0.48	0.07
46年目	H 82	0.1301	102.8			0.48	0.06
47年目	H 83	0.1251	102.8			0.48	0.06
48年目	H 84	0.1203	102.8			0.48	0.06
49年目	H 85	0.1157	102.8			0.48	0.06
合計				148.16	132.15	24.07	8.53
単純事業費計				148.22		24.07	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道168号 長殿道路

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.19	2.7	0.52

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-5年目	H 31	0.9615	102.8	7.59	7.30		
-4年目	H 32	0.9246	102.8	13.89	12.84		
-3年目	H 33	0.8890	102.8	20.37	18.11		
-2年目	H 34	0.8548	102.8	50.93	43.53		
-1年目	H 35	0.8219	102.8	36.57	30.06		
供用開始年次	H 36	0.7903	102.8			0.48	0.38
1年目	H 37	0.7599	102.8			0.48	0.37
2年目	H 38	0.7307	102.8			0.48	0.35
3年目	H 39	0.7026	102.8			0.48	0.34
4年目	H 40	0.6756	102.8			0.48	0.33
5年目	H 41	0.6496	102.8			0.48	0.31
6年目	H 42	0.6246	102.8			0.48	0.30
7年目	H 43	0.6006	102.8			0.48	0.29
8年目	H 44	0.5775	102.8			0.48	0.28
9年目	H 45	0.5553	102.8			0.48	0.27
10年目	H 46	0.5339	102.8			0.48	0.26
11年目	H 47	0.5134	102.8			0.48	0.25
12年目	H 48	0.4936	102.8			0.48	0.24
13年目	H 49	0.4746	102.8			0.48	0.23
14年目	H 50	0.4564	102.8			0.48	0.22
15年目	H 51	0.4388	102.8			0.48	0.21
16年目	H 52	0.4220	102.8			0.48	0.20
17年目	H 53	0.4057	102.8			0.48	0.20
18年目	H 54	0.3901	102.8			0.48	0.19
19年目	H 55	0.3751	102.8			0.48	0.18
20年目	H 56	0.3607	102.8			0.48	0.17
21年目	H 57	0.3468	102.8			0.48	0.17
22年目	H 58	0.3335	102.8			0.48	0.16
23年目	H 59	0.3207	102.8			0.48	0.15
24年目	H 60	0.3083	102.8			0.48	0.15
25年目	H 61	0.2965	102.8			0.48	0.14
26年目	H 62	0.2851	102.8			0.48	0.14
27年目	H 63	0.2741	102.8			0.48	0.13
28年目	H 64	0.2636	102.8			0.48	0.13
29年目	H 65	0.2534	102.8			0.48	0.12
30年目	H 66	0.2437	102.8			0.48	0.12
31年目	H 67	0.2343	102.8			0.48	0.11
32年目	H 68	0.2253	102.8			0.48	0.11
33年目	H 69	0.2166	102.8			0.48	0.10
34年目	H 70	0.2083	102.8			0.48	0.10
35年目	H 71	0.2003	102.8			0.48	0.10
36年目	H 72	0.1926	102.8			0.48	0.09
37年目	H 73	0.1852	102.8			0.48	0.09
38年目	H 74	0.1780	102.8			0.48	0.09
39年目	H 75	0.1712	102.8			0.48	0.08
40年目	H 76	0.1646	102.8			0.48	0.08
41年目	H 77	0.1583	102.8			0.48	0.08
42年目	H 78	0.1522	102.8			0.48	0.07
43年目	H 79	0.1463	102.8			0.48	0.07
44年目	H 80	0.1407	102.8			0.48	0.07
45年目	H 81	0.1353	102.8			0.48	0.07
46年目	H 82	0.1301	102.8			0.48	0.06
47年目	H 83	0.1251	102.8			0.48	0.06
48年目	H 84	0.1203	102.8			0.48	0.06
49年目	H 85	0.1157	102.8	-0.02	0.00	0.48	0.06
合計				129.33	111.84	24.07	8.53
単純事業費計				129.35		24.07	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 一般国道168号 長殿道路

年次	年度 (基準年) H 30	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合 計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 ①~③	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 36	0.99915	0.98628	1.00658	0.99808	0.7903	102.8	5.29	1.77	1.97	9.03	7.14	0.16	0.05	0.12	0.32	0.26	0.01	0.01	9.37	7.40
1年目	H 37	0.99914	0.98609	1.00653	0.99807	0.7599	102.8	5.29	1.74	1.98	9.02	6.85	0.16	0.05	0.12	0.32	0.25	0.01	0.01	9.35	7.11
2年目	H 38	0.99914	0.98590	1.00649	0.99807	0.7307	102.8	5.29	1.72	2.00	9.00	6.58	0.15	0.05	0.12	0.32	0.24	0.01	0.01	9.33	6.82
3年目	H 39	0.99914	0.98570	1.00645	0.99806	0.7026	102.8	5.28	1.69	2.01	8.99	6.31	0.15	0.05	0.12	0.32	0.23	0.01	0.01	9.32	6.55
4年目	H 40	0.99914	0.98549	1.00641	0.99806	0.6756	102.8	5.28	1.67	2.02	8.97	6.06	0.15	0.04	0.12	0.32	0.22	0.01	0.01	9.30	6.29
5年目	H 41	0.99914	0.98528	1.00637	0.99806	0.6496	102.8	5.27	1.65	2.04	8.95	5.82	0.15	0.04	0.12	0.32	0.21	0.01	0.01	9.29	6.03
6年目	H 42	0.99197	0.99076	0.99801	0.99265	0.6246	102.8	5.27	1.62	2.05	8.94	5.58	0.15	0.04	0.13	0.32	0.20	0.01	0.01	9.27	5.79
7年目	H 43	0.99190	0.99067	0.99800	0.99259	0.6006	102.8	5.22	1.61	2.04	8.88	5.33	0.15	0.04	0.13	0.32	0.19	0.01	0.01	9.21	5.53
8年目	H 44	0.99183	0.99059	0.99800	0.99254	0.5775	102.8	5.18	1.59	2.04	8.81	5.09	0.15	0.04	0.13	0.32	0.18	0.01	0.01	9.14	5.28
9年目	H 45	0.99177	0.99050	0.99800	0.99248	0.5553	102.8	5.14	1.58	2.04	8.75	4.86	0.15	0.04	0.12	0.32	0.18	0.01	0.01	9.08	5.04
10年目	H 46	0.99170	0.99041	0.99799	0.99242	0.5339	102.8	5.10	1.56	2.03	8.69	4.64	0.15	0.04	0.12	0.32	0.17	0.01	0.01	9.02	4.81
11年目	H 47	0.99163	0.99031	0.99799	0.99237	0.5134	102.8	5.06	1.55	2.03	8.63	4.43	0.15	0.04	0.12	0.31	0.16	0.01	0.01	8.95	4.60
12年目	H 48	0.99156	0.99022	0.99798	0.99231	0.4936	102.8	5.01	1.53	2.02	8.57	4.23	0.15	0.04	0.12	0.31	0.15	0.01	0.00	8.89	4.39
13年目	H 49	0.99149	0.99012	0.99798	0.99225	0.4746	102.8	4.97	1.52	2.02	8.51	4.04	0.15	0.04	0.12	0.31	0.15	0.01	0.00	8.83	4.19
14年目	H 50	0.99141	0.99002	0.99798	0.99219	0.4564	102.8	4.93	1.50	2.02	8.45	3.86	0.14	0.04	0.12	0.31	0.14	0.01	0.00	8.76	4.00
15年目	H 51	0.99134	0.98992	0.99797	0.99213	0.4388	102.8	4.89	1.49	2.01	8.39	3.68	0.14	0.04	0.12	0.31	0.13	0.01	0.00	8.70	3.82
16年目	H 52	0.99126	0.98982	0.99797	0.99206	0.4220	102.8	4.84	1.47	2.01	8.32	3.51	0.14	0.04	0.12	0.30	0.13	0.01	0.00	8.64	3.65
17年目	H 53	0.99119	0.98971	0.99796	0.99200	0.4057	102.8	4.80	1.46	2.00	8.26	3.35	0.14	0.04	0.12	0.30	0.12	0.01	0.00	8.57	3.48
18年目	H 54	0.99111	0.98961	0.99796	0.99194	0.3901	102.8	4.76	1.44	2.00	8.20	3.20	0.14	0.04	0.12	0.30	0.12	0.01	0.00	8.51	3.32
19年目	H 55	0.99103	0.98950	0.99796	0.99187	0.3751	102.8	4.72	1.43	2.00	8.14	3.05	0.14	0.04	0.12	0.30	0.11	0.01	0.00	8.45	3.17
20年目	H 56	0.99095	0.98939	0.99795	0.99180	0.3607	102.8	4.67	1.41	1.99	8.08	2.91	0.14	0.04	0.12	0.30	0.11	0.01	0.00	8.38	3.02
21年目	H 57	0.99086	0.98927	0.99795	0.99174	0.3468	102.8	4.63	1.40	1.99	8.02	2.78	0.14	0.04	0.12	0.29	0.10	0.01	0.00	8.32	2.89
22年目	H 58	0.99078	0.98916	0.99794	0.99167	0.3335	102.8	4.59	1.38	1.98	7.96	2.65	0.13	0.04	0.12	0.29	0.10	0.01	0.00	8.26	2.75
23年目	H 59	0.99069	0.98904	0.99794	0.99160	0.3207	102.8	4.55	1.37	1.98	7.89	2.53	0.13	0.04	0.12	0.29	0.09	0.01	0.00	8.19	2.63
24年目	H 60	0.99061	0.98892	0.99793	0.99153	0.3083	102.8	4.51	1.35	1.97	7.83	2.41	0.13	0.04	0.12	0.29	0.09	0.01	0.00	8.13	2.51
25年目	H 61	0.99052	0.98879	0.99793	0.99145	0.2965	102.8	4.46	1.34	1.97	7.77	2.30	0.13	0.04	0.12	0.29	0.09	0.01	0.00	8.07	2.39
26年目	H 62	0.99043	0.98867	0.99793	0.99138	0.2851	102.8	4.42	1.32	1.97	7.71	2.20	0.13	0.04	0.12	0.29	0.08	0.01	0.00	8.00	2.28
27年目	H 63	0.99034	0.98854	0.99792	0.99130	0.2741	102.8	4.38	1.31	1.96	7.65	2.10	0.13	0.03	0.12	0.28	0.08	0.01	0.00	7.94	2.18
28年目	H 64	0.99024	0.98840	0.99792	0.99123	0.2636	102.8	4.34	1.29	1.96	7.59	2.00	0.13	0.03	0.12	0.28	0.07	0.01	0.00	7.88	2.08
29年目	H 65	0.99014	0.98827	0.99791	0.99115	0.2534	102.8	4.29	1.28	1.95	7.53	1.91	0.13	0.03	0.12	0.28	0.07	0.01	0.00	7.81	1.98
30年目	H 66	0.99005	0.98813	0.99791	0.99107	0.2437	102.8	4.25	1.26	1.95	7.46	1.82	0.12	0.03	0.12	0.28	0.07	0.01	0.00	7.75	1.89
31年目	H 67	0.98995	0.98798	0.99790	0.99099	0.2343	102.8	4.21	1.25	1.95	7.40	1.73	0.12	0.03	0.12	0.28	0.06	0.01	0.00	7.69	1.80
32年目	H 68	0.98984	0.98784	0.99790	0.99091	0.2253	102.8	4.17	1.23	1.94	7.34	1.65	0.12	0.03	0.12	0.27	0.06	0.01	0.00	7.62	1.72
33年目	H 69	0.98974	0.98769	0.99790	0.99083	0.2166	102.8	4.12	1.22	1.94	7.28	1.58	0.12	0.03	0.12	0.27	0.06	0.01	0.00	7.56	1.64
34年目	H 70	0.98963	0.98754	0.99789	0.99074	0.2083	102.8	4.08	1.20	1.93	7.22	1.50	0.12	0.03	0.12	0.27	0.06	0.01	0.00	7.50	1.56
35年目	H 71	0.98953	0.98738	0.99789	0.99065	0.2003	102.8	4.04	1.19	1.93	7.16	1.43	0.12	0.03	0.12	0.27	0.05	0.01	0.00	7.43	1.49
36年目	H 72	0.98941	0.98722	0.99788	0.99057	0.1926	102.8	4.00	1.17	1.93	7.10	1.37	0.12	0.03	0.12	0.27	0.05	0.01	0.00	7.37	1.42
37年目	H 73	0.98930	0.98705	0.99788	0.99048	0.1852	102.8	3.96	1.16	1.92	7.03	1.30	0.12	0.03	0.12	0.26	0.05	0.01	0.00	7.31	1.35
38年目	H 74	0.98919	0.98688	0.99787	0.99039	0.1780	102.8	3.91	1.14	1.92	6.97	1.24	0.11	0.03	0.12	0.26	0.05	0.01	0.00	7.24	1.29
39年目	H 75	0.98907	0.98671	0.99787	0.99029	0.1712	102.8	3.87	1.13	1.91	6.91	1.18	0.11	0.03	0.12	0.26	0.04	0.01	0.00	7.18	1.23
40年目	H 76	0.98895	0.98653	0.99786	0.99020	0.1646	102.8	3.83	1.11	1.91	6.85	1.13	0.11	0.03	0.12	0.26	0.04	0.01	0.00	7.12	1.17
41年目	H 77	0.98882	0.98634	0.99786	0.99010	0.1583	102.8	3.79	1.10	1.91	6.79	1.07	0.11	0.03	0.12	0.26	0.04	0.01	0.00	7.05	1.12
42年目	H 78	0.98870	0.98615	0.99785	0.99000	0.1522	102.8	3.74	1.08	1.90	6.73	1.02	0.11	0.03	0.12	0.26	0.04	0.01	0.00	6.99	1.06
43年目	H 79	0.98857	0.98596	0.99785	0.98990	0.1463	102.8	3.70	1.07	1.90	6.67	0.98	0.11	0.03	0.12	0.25	0.04	0.01	0.00	6.93	1.01
44年目	H 80	0.98844	0.98576	0.99785	0.98980	0.1407	102.8	3.66	1.05	1.89	6.61	0.93	0.11	0.03	0.12	0.25	0.04	0.01	0.00	6.86	0.97
45年目	H 81	0.98830	0.98555	0.99784	0.98969	0.1353	102.8	3.62	1.04	1.89	6.54	0.89	0.11	0.03	0.12	0.25	0.03	0.01	0.00	6.80	0.92
46年目	H 82	0.98816	0.98534	0.99784	0.98958	0.1301	102.8	3.57	1.02	1.89	6.48	0.84	0.10	0.03	0.12	0.25	0.03	0.01	0.00	6.74	0.88
47年目	H 83	0.98802	0.98513	0.99783	0.98947	0.1251	102.8	3.53	1.01	1.88	6.42	0.80	0.10	0.03	0.12	0.25	0.03	0.01	0.00	6.67	0.83
48年目	H 84	0.98787	0.98490	0.99783	0.98936	0.1203	102.8	3.49	0.99	1.88	6.36	0.77	0.10	0.03	0.12	0.24	0.03	0.01	0.00	6.61	0.80
49年目	H 85	0.98773	0.98467	0.99782	0.98925	0.1157	102.8	3.45	0.98	1.87	6.30	0.73	0.10	0.03	0.11	0.24	0.03	0.01	0.00	6.55	0.76
合 計								223.41	67.44	98.29	389.14	145.38	6.55	1.80	6.02	14.37	5.32	0.45	0.17	403.97	150.87

便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 一般国道168号 長殿道路

年次	年度 (基準年) H 30	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 36	0.99915	0.98628	1.00658	0.99808	0.7903	102.8	5.29	1.77	1.97	9.03	7.14	0.16	0.05	0.12	0.32	0.26	0.01	0.01	9.37	7.40
1年目	H 37	0.99914	0.98609	1.00653	0.99807	0.7599	102.8	5.29	1.74	1.98	9.02	6.85	0.16	0.05	0.12	0.32	0.25	0.01	0.01	9.35	7.11
2年目	H 38	0.99914	0.98590	1.00649	0.99807	0.7307	102.8	5.29	1.72	2.00	9.00	6.58	0.15	0.05	0.12	0.32	0.24	0.01	0.01	9.33	6.82
3年目	H 39	0.99914	0.98570	1.00645	0.99806	0.7026	102.8	5.28	1.69	2.01	8.99	6.31	0.15	0.05	0.12	0.32	0.23	0.01	0.01	9.32	6.55
4年目	H 40	0.99914	0.98549	1.00641	0.99806	0.6756	102.8	5.28	1.67	2.02	8.97	6.06	0.15	0.04	0.12	0.32	0.22	0.01	0.01	9.30	6.29
5年目	H 41	0.99914	0.98528	1.00637	0.99806	0.6496	102.8	5.27	1.65	2.04	8.95	5.82	0.15	0.04	0.12	0.32	0.21	0.01	0.01	9.29	6.03
6年目	H 42	0.99197	0.99076	0.99801	0.99265	0.6246	102.8	5.27	1.62	2.05	8.94	5.58	0.15	0.04	0.13	0.32	0.20	0.01	0.01	9.27	5.79
7年目	H 43	0.99190	0.99067	0.99800	0.99259	0.6006	102.8	5.22	1.61	2.04	8.88	5.33	0.15	0.04	0.13	0.32	0.19	0.01	0.01	9.21	5.53
8年目	H 44	0.99183	0.99059	0.99800	0.99254	0.5775	102.8	5.18	1.59	2.04	8.81	5.09	0.15	0.04	0.13	0.32	0.18	0.01	0.01	9.14	5.28
9年目	H 45	0.99177	0.99050	0.99800	0.99248	0.5553	102.8	5.14	1.58	2.04	8.75	4.86	0.15	0.04	0.12	0.32	0.18	0.01	0.01	9.08	5.04
10年目	H 46	0.99170	0.99041	0.99799	0.99242	0.5339	102.8	5.10	1.56	2.03	8.69	4.64	0.15	0.04	0.12	0.32	0.17	0.01	0.01	9.02	4.81
11年目	H 47	0.99163	0.99031	0.99799	0.99237	0.5134	102.8	5.06	1.55	2.03	8.63	4.43	0.15	0.04	0.12	0.31	0.16	0.01	0.01	8.95	4.60
12年目	H 48	0.99156	0.99022	0.99798	0.99231	0.4936	102.8	5.01	1.53	2.02	8.57	4.23	0.15	0.04	0.12	0.31	0.15	0.01	0.00	8.89	4.39
13年目	H 49	0.99149	0.99012	0.99798	0.99225	0.4746	102.8	4.97	1.52	2.02	8.51	4.04	0.15	0.04	0.12	0.31	0.15	0.01	0.00	8.83	4.19
14年目	H 50	0.99141	0.99002	0.99798	0.99219	0.4564	102.8	4.93	1.50	2.02	8.45	3.86	0.14	0.04	0.12	0.31	0.14	0.01	0.00	8.76	4.00
15年目	H 51	0.99134	0.98992	0.99797	0.99213	0.4388	102.8	4.89	1.49	2.01	8.39	3.68	0.14	0.04	0.12	0.31	0.13	0.01	0.00	8.70	3.82
16年目	H 52	0.99126	0.98982	0.99797	0.99206	0.4220	102.8	4.84	1.47	2.01	8.32	3.51	0.14	0.04	0.12	0.30	0.13	0.01	0.00	8.64	3.65
17年目	H 53	0.99119	0.98971	0.99796	0.99200	0.4057	102.8	4.80	1.46	2.00	8.26	3.35	0.14	0.04	0.12	0.30	0.12	0.01	0.00	8.57	3.48
18年目	H 54	0.99111	0.98961	0.99796	0.99194	0.3901	102.8	4.76	1.44	2.00	8.20	3.20	0.14	0.04	0.12	0.30	0.12	0.01	0.00	8.51	3.32
19年目	H 55	0.99103	0.98950	0.99796	0.99187	0.3751	102.8	4.72	1.43	2.00	8.14	3.05	0.14	0.04	0.12	0.30	0.11	0.01	0.00	8.45	3.17
20年目	H 56	0.99095	0.98939	0.99795	0.99180	0.3607	102.8	4.67	1.41	1.99	8.08	2.91	0.14	0.04	0.12	0.30	0.11	0.01	0.00	8.38	3.02
21年目	H 57	0.99086	0.98927	0.99795	0.99174	0.3468	102.8	4.63	1.40	1.99	8.02	2.78	0.14	0.04	0.12	0.29	0.10	0.01	0.00	8.32	2.89
22年目	H 58	0.99078	0.98916	0.99794	0.99167	0.3335	102.8	4.59	1.38	1.98	7.96	2.65	0.13	0.04	0.12	0.29	0.10	0.01	0.00	8.26	2.75
23年目	H 59	0.99069	0.98904	0.99794	0.99160	0.3207	102.8	4.55	1.37	1.98	7.89	2.53	0.13	0.04	0.12	0.29	0.09	0.01	0.00	8.19	2.63
24年目	H 60	0.99061	0.98892	0.99793	0.99153	0.3083	102.8	4.51	1.35	1.97	7.83	2.41	0.13	0.04	0.12	0.29	0.09	0.01	0.00	8.13	2.51
25年目	H 61	0.99052	0.98879	0.99793	0.99145	0.2965	102.8	4.46	1.34	1.97	7.77	2.30	0.13	0.04	0.12	0.29	0.09	0.01	0.00	8.07	2.39
26年目	H 62	0.99043	0.98867	0.99793	0.99138	0.2851	102.8	4.42	1.32	1.97	7.71	2.20	0.13	0.04	0.12	0.29	0.08	0.01	0.00	8.00	2.28
27年目	H 63	0.99034	0.98854	0.99792	0.99130	0.2741	102.8	4.38	1.31	1.96	7.65	2.10	0.13	0.03	0.12	0.28	0.08	0.01	0.00	7.94	2.18
28年目	H 64	0.99024	0.98840	0.99792	0.99123	0.2636	102.8	4.34	1.29	1.96	7.59	2.00	0.13	0.03	0.12	0.28	0.07	0.01	0.00	7.88	2.08
29年目	H 65	0.99014	0.98827	0.99791	0.99115	0.2534	102.8	4.29	1.28	1.95	7.53	1.91	0.13	0.03	0.12	0.28	0.07	0.01	0.00	7.81	1.98
30年目	H 66	0.99005	0.98813	0.99791	0.99107	0.2437	102.8	4.25	1.26	1.95	7.46	1.82	0.12	0.03	0.12	0.28	0.07	0.01	0.00	7.75	1.89
31年目	H 67	0.98995	0.98798	0.99790	0.99099	0.2343	102.8	4.21	1.25	1.95	7.40	1.73	0.12	0.03	0.12	0.28	0.06	0.01	0.00	7.69	1.80
32年目	H 68	0.98984	0.98784	0.99790	0.99091	0.2253	102.8	4.17	1.23	1.94	7.34	1.65	0.12	0.03	0.12	0.27	0.06	0.01	0.00	7.62	1.72
33年目	H 69	0.98974	0.98769	0.99790	0.99083	0.2166	102.8	4.12	1.22	1.94	7.28	1.58	0.12	0.03	0.12	0.27	0.06	0.01	0.00	7.56	1.64
34年目	H 70	0.98963	0.98754	0.99789	0.99074	0.2083	102.8	4.08	1.20	1.93	7.22	1.50	0.12	0.03	0.12	0.27	0.06	0.01	0.00	7.50	1.56
35年目	H 71	0.98953	0.98738	0.99789	0.99065	0.2003	102.8	4.04	1.19	1.93	7.16	1.43	0.12	0.03	0.12	0.27	0.05	0.01	0.00	7.43	1.49
36年目	H 72	0.98941	0.98722	0.99788	0.99057	0.1926	102.8	4.00	1.17	1.93	7.10	1.37	0.12	0.03	0.12	0.27	0.05	0.01	0.00	7.37	1.42
37年目	H 73	0.98930	0.98705	0.99788	0.99048	0.1852	102.8	3.96	1.16	1.92	7.03	1.30	0.12	0.03	0.12	0.26	0.05	0.01	0.00	7.31	1.35
38年目	H 74	0.98919	0.98688	0.99787	0.99039	0.1780	102.8	3.91	1.14	1.92	6.97	1.24	0.11	0.03	0.12	0.26	0.05	0.01	0.00	7.24	1.29
39年目	H 75	0.98907	0.98671	0.99787	0.99029	0.1712	102.8	3.87	1.13	1.91	6.91	1.18	0.11	0.03	0.12	0.26	0.04	0.01	0.00	7.18	1.23
40年目	H 76	0.98895	0.98653	0.99786	0.99020	0.1646	102.8	3.83	1.11	1.91	6.85	1.13	0.11	0.03	0.12	0.26	0.04	0.01	0.00	7.12	1.17
41年目	H 77	0.98882	0.98634	0.99786	0.99010	0.1583	102.8	3.79	1.10	1.91	6.79	1.07	0.11	0.03	0.12	0.26	0.04	0.01	0.00	7.05	1.12
42年目	H 78	0.98870	0.98615	0.99785	0.99000	0.1522	102.8	3.74	1.08	1.90	6.73	1.02	0.11	0.03	0.12	0.26	0.04	0.01	0.00	6.99	1.06
43年目	H 79	0.98857	0.98596	0.99785	0.98990	0.1463	102.8	3.70	1.07	1.90	6.67	0.98	0.11	0.03	0.12	0.25	0.04	0.01	0.00	6.93	1.01
44年目	H 80	0.98844	0.98576	0.99785	0.98980	0.1407	102.8	3.66	1.05	1.89	6.61	0.93	0.11	0.03	0.12	0.25	0.04	0.01	0.00	6.86	0.97
45年目	H 81	0.98830	0.98555	0.99784	0.98969	0.1353	102.8	3.62	1.04	1.89	6.54	0.89	0.11	0.03	0.12	0.25	0.03	0.01	0.00	6.80	0.92
46年目	H 82	0.98816	0.98534	0.99784	0.98958	0.1301	102.8	3.57	1.02	1.89	6.48	0.84	0.10	0.03	0.12	0.25	0.03	0.01	0.00	6.74	0.88
47年目	H 83	0.98802	0.98513	0.99783	0.98947	0.1251	102.8	3.53	1.01	1.88	6.42	0.80	0.10	0.03	0.12	0.25	0.03	0.01	0.00	6.67	0.83
48年目	H 84	0.98787	0.98490	0.99783	0.98936	0.1203	102.8	3.49	0.99	1.88	6.36	0.77	0.10	0.03	0.12	0.24	0.03	0.01	0.00	6.61	0.80
49年目	H 85	0.98773	0.98467	0.99782	0.98925	0.1157	102.8	3.45	0.98	1.87	6.30	0.73	0.10	0.03	0.11	0.24	0.03	0.01	0.00	6.55	0.76
合計								223.41	67.44	98.29	389.14	145.38	6.55	1.80	6.02	14.37	5.32	0.45	0.17	403.97	150.87

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	長殿道路	2	2.7km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				14,474	
	改良費				1,322	
		土工	m3	1,357	1	
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m2	488	1,084	
		擁壁工	式	1	233	
		排水工	m	336	3	
		函渠工	m	22	1	
	橋梁費				4,813	
		橋梁	m	433	4,813	
	トンネル費				8,266	
		NATM	m	2,065	8,266	
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				70	
		車道舗装	m ²	16,214	70	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				2	
		交通管理施設工	m	7,494	2	
②	用地及補償費				6	
	用地費		m ²	16,126	6	
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²	16,126	6	
		その他	m ²			
	補償費		式			
③	間接経費		式	1	1,520	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				16,000	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	長殿道路	2	2.7km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				13,436	
	改良費				1,322	
		土工	m3	1,357	1	
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m2	488	1,084	
		擁壁工	式	1	233	
		排水工	m	336	3	
		函渠工	m	22	1	
	橋梁費				3,775	
		橋梁	m	433	3,775	
	トンネル費				8,266	
		NATM	m	2,065	8,266	
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				70	
		車道舗装	m ²	16,214	70	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				2	
		交通管理施設工	m	7,494	2	
②	用地及補償費				2	
	用地費		m ²	10,159	2	
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²	10,159	2	
		その他	m ²			
	補償費		式			
③	間接経費		式	1	501	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				13,939	

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	長殿道路	2	2.7km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.7	750	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	1,850	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			2,600	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

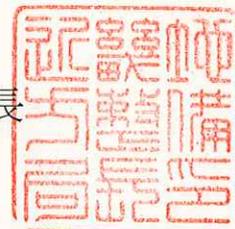


国近整企画第144号

平成30年10月29日

奈良県知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成30年11月15日(木)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成30年11月7日(水)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・お問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(別紙)

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道24号大和御所道路	事業継続	
一般国道168号五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)	事業継続	
一般国道168号長殿道路	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

道 建 第 1 1 0 号
平成 3 0 年 1 1 月 7 日

近畿地方整備局長
黒川 純一良 殿

奈良県知事 荒井 正吾



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

平成 3 0 年 1 0 月 2 9 日付け、国近整企画第 1 4 4 号で照会のありました標記の件について、別紙のとおり回答します。

対象道路事業

- ・ 一般国道 2 4 号大和御所道路
- ・ 一般国道 1 6 8 号五條新宮道路（風屋川津・宇宮原工区）
- ・ 一般国道 1 6 8 号長殿道路

【一般国道168号長殿道路】

五條新宮道路は、紀伊半島全体の強靱化を図る観点から、「命の道」として、特に重要な地域高規格道路であり、加えて、南部地域の復旧・復興から振興への核として、観光や林業の振興といった地方創生に資する幹線道路です。

しかしながら、五條新宮道路（長殿道路）の現道は、狭隘区間やカーブが多いため、走行性が悪く、かつ、災害にも脆弱であることから、長殿道路を早期に整備することで、交通の円滑化や安全、安心の確保が図られ、さらなる観光や林業の振興が期待できます。

県としても、阪本工区、新天辻工区の整備を鋭意進めているところであり、紀伊半島の強靱化や南部地域の地方創生のため、長殿道路の事業継続は不可欠です。

以上のことから、対応方針（原案）のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業継続にあたり、より一層のコスト縮減等に努めて頂きたい。県としては、円滑な事業推進のための環境整備の推進や沿線の自治体との協力を努めますので、早期の供用に向けた確実な事業推進をお願いします。